

第5回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者があまりにひどい。いる必要がない。 ● 話し合いの会を開く意味がない。なぜなら、練馬の件でわかるように、外環ノ2を作る前提ですべてが進んでいるのがよく分かるから。住民たちは自分たちの生活が大きく変わるおそれがあるので必死になっているのに、都側はあまりに強引で日本語としての会話が成り立っていない。住民をこれほどバカにしているのかと初めて出席して驚いた。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見カード冒頭に「話し合いの会についてご感想をお聞かせください」とあるが、聞き放しではなく、きちんと回答せよ。 ● 練馬の外環ノ2、1Kmについて都は構成員の指摘にあるように、手続きの間違いを素直に認めて <ul style="list-style-type: none"> ①「外環ノ2」の名称の冠を外す。 ②残りの8Kmの建設する、しないについては全く影響しないことを文書で明確に示す。 以上の点を要望する ● 以前から指摘されているように、司会者は勉強不足、力不足で失格。交代しないのなら、よく状況・経緯を勉強した副司会者を置いてください。(武蔵野市のように2人いて良いと思います)
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 練馬の事業の件名と内容にねじれがあり、それによって不安が引き起こされて、話し合いの会の本来の議題が討論できない。非常に中身の無い会だった。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 杉並はもともと外環の2についてはその必要性の有無について話し合うことになっています。 ● 私が属する井萩三丁目町会では外環道本線が地下化した後も地上部街路として残された「外環の2」の計画に対し、平成18年10月に杉並区長あてに、白紙撤回するよう要望書を提出しています。その理由は言うまでもなく、当該地域は現在良好な生活環境と自然環境が維持されており、計画通り実施されると、これらの地域を分断、破壊し、生活環境を一変させ、地域住民に甚大な被害と損害をもたらすことが明らかだからです。話し合いの会では、既に示されているこうした多くの住民の意見を十分尊重した上で協議を進めて下さるようお願いします。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 外環の2は必要ないです。若者は自動車離れをしている。この費用は東北に回してください。
6	<ul style="list-style-type: none"> ● 練馬区では3/25、3/26に検討のプロセスの地元との話し合いの段階だった。(説明・都のあり)住民との約束を破り、都市計画事業の認可をした理由、法的位置付けを述べよ。 ● 練馬区民を全くバカにしている。私たちは認めてないぞ。他地域の話し合い最中に小口氏は外環2を作る、作りたいをうっかり発言した。話し合いの会は茶番か。 ● 練馬はプロセス3なのだから、都市計画に関する都の方針公表まできちんと行え。

	<p>やり直しを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理解力のない司会者は交代しろ。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者ははっきりと指名すべき。誰に（特に行政に対して）指示したのかわからない。 ● 外環に賛成だろうが反対だろうが、外環の2について話し合いの会をしている中で、たとえ1Kmであろうと事業認可していることは、都は必要ありといえは話し合いの会を無視して事業化するというので、構成員の方々は軽視されているということで、怒るべきで、怒らないなら人格無視も受認するというではないか。 ● 小口さんと赤見さんが構成員として発言しているならば、（都）ではなく、氏名を入れるべきではないか。そうでなければ事務局になるべき。
8	<ul style="list-style-type: none"> ● 練馬の外環の2着工は衝撃だ。その是非を含めて継続的に話し合いが行われている最中であることは、区民、行政ともに認識しているはずであり、会をないがしろにするものだ。 ● 「外環の2」を冠した事業がいったん予算化されれば、後はなし崩し的に事業を進めていこうとするのは明白だろう。そのことが分かっている行政は「しっかり」「しっかり」を繰り返すのみで、事業化決定のプロセスの具体的な説明を避けている。「ご理解いただきたい」と言うならば、様々な事の透明性を担保しなければいけない。 ● 司会をちゃんとやること。
9	<ul style="list-style-type: none"> ● 武蔵野市でも杉並区の話し合いの会で大泉JCT 1 Km区間の事業化は問題となったように、誰が聴いても外環の2の名称を使って1 Kmを整備するのはおかしいということです。この区間は国が本線の一部事業として整備すれば済むことです。 ● 構成員の一人が言っていたように再度、練馬区における地上部街路の話し合いのメンバーを集めてこの大泉のことを話し合うべきです。
10	<ul style="list-style-type: none"> ● 「外環の2」として事業認可という説明はまったく納得できない。一方で「話し合いの会」をしている最中、練馬の1 Kmだけ切り離して事業認定することはあり得ない。そんなやり方では「話し合いの会」の意味がなくなる。 ● 「話し合いの会」が終わったら、ほとんどの人が納得していなくても、一方的に事業認可をし、道路を作っていくという危機感を感じる。 ● 外環2に該当する地域の住民は、この「話し合いの会」の存在も「話し合いの会」で話されている内容もほとんど分からない。そのような状態で、重大な計画が進められているというのは疑問を感じる。どのように地域住民に知らせていくのか。（「話し合いの会」に出席している人も少数） ● ご意見カードの意見はどう反映されるのか、毎回書いても意味がないと感じる。多くの人に知らせる手立てがほしい。都のホームページの利用など。
11	<ul style="list-style-type: none"> ● 都は「杉並区の話し合いの会」で進行中なのに、外環の2の工事着工（練馬側）をしたのは非常に問題で、住民を無視して進めるのは許しがたい。 ● 外環の2の部分の着工を取り消すべきです。

12	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会が機能していない。司会者をその能力のある人に替えよ。
13	<ul style="list-style-type: none"> ● 「外環の2」について必要性の有無から話し合っている最中に事業認可をとり、着工式を行ったことを知りびっくりしました。結局住民の意見は「聞きおだけ」なのですね。都に対して強い不信感を持ちました。住民が何を言っても道路ありきなのだと分かりました。 ● 「行政として判断した」という小口さんの発言は、住民を見下した傲慢な発言だと思います。「騙された」という住民の発言は全くそのとおりの思いました。
14	<ul style="list-style-type: none"> ● 大震災を受けて外環も外環の2も大金を使って道路を作るべきではない。総て見直し、日本の真の復興をとげる為にその費用を震災の被災地に廻すべきでしょう。 ● 杉並区民は外環の2の不要論者が多いので、そろそろ廃止の手続きをした方が税金の無駄遣いを防げると思う。 ● 今日の会議は一体何ですか。議事が何一つ進行しない。正直時間の無駄でしたね。都、国は住民の意見を無視している結果です。
15	<ul style="list-style-type: none"> ● 練馬区の3月末の説明会の議事録など内容がわかるものをこの会に提出すべきである。 ● 練馬区の外環の2の一部認可区間の対象戸数などがわかる地図を提出すべきである。 ● 武蔵野市の話し合いの会のように司会はしっかりと進行して欲しい。 ● こういう住民無視のなしくずし的なやり方は許せない。 ● 「対応の方針」が守られていないということは重大な問題である。「対応の方針」が信用できないものだということになる。
16	<ul style="list-style-type: none"> ● 構成員（住民）が都に提出する資料を都が検閲するのはおかしい。やめるべきである。 ● 構成員（住民）の「ご意見カード」についても都が検閲するのはおかしい。やめるべきである。 ● H22年交通センサスによるB/Cを速やかに示すこと。